

# 第6回 志賀町文化祭



生涯学習  
だより

【お問い合わせ】  
志賀町教育委員会  
生涯学習課  
☎ 32-9350  
町内IP 8-32-9350

「文化の日」の祝日にあ  
わせ、第6回志賀町文化  
祭を次の日程で行います。

文化ホール会場では、3日(水・  
祝)に大ホールで「式典」、「記念講  
演」、「芸能アトラクション」が予定  
されているほか、文化協会会員や、  
児童・生徒などによる各種展示、女  
性団体・青年団による模擬店などが  
予定されています。

また、富来活性化センターでは1  
日(月)から3日(水)まで「文化  
余技展」として、グループ教室生  
や、各種愛好グループによる作品の  
展示、お茶会などが予定されていま  
す。皆さんお誘い合わせの上、ご来  
場をお待ちしています。

なお、町民皆さんの作品も募集し  
ていますので、出品を希望する人は  
左記までお問い合わせください。

【お問い合わせ】

生涯学習課  
☎ 32-9350

生涯学習センター  
☎ 32-2970

## 【第6回志賀町文化祭】

◇日程 11月1日(月)～3日(祝)

◇会場 志賀町文化ホール(2日・3日)  
(各種展示、記念講演、  
芸能アトラクションなど)  
富来活性化センター(1日～3日  
(文化余技展など))

## 【記念講演会】 (入場無料)

◇日時 11月3日(水・祝)  
午前10時30分から

◇講師 長 榎 氏  
榎 氏

◇演題 「英国と能登 人との出会い」

◇略歴 旧富来町出身。昭和15年  
生まれ。1964年上智大学を  
卒業後、BOAC(現 英国航  
空)入社。主に営業として、海  
外駐在を歴任。  
2004年からは能登ふるさと  
館(東京)館長として、能登空  
港のPR・能登の物産販売促進  
に尽力。趣味はゴルフ他



## 第5回 志賀町駅伝競走大会

### 【駅伝参加チーム決定】

第5回志賀町駅伝競走大会を10月11  
日(月・祝) 体育の日に開催します。  
9時30分に役場富来支所をスタート  
し、ゴールの町陸上競技場を目指します。  
昨年の優勝は増穂、準優勝は富来・  
穂造チームでした。今年の優勝旗を勝  
ち取るのはどのチームでしょうか!!  
沿道でのご声援を皆さんよろしくお願  
いします。



### ◎ 参加チーム

- ① 加茂・下甘田
- ② 熊野・上熊野
- ③ 西海・西浦
- ④ 増穂
- ⑤ 富来・穂造
- ⑥ 土田
- ⑦ 志加浦
- ⑧ 堀松
- ⑨ 高浜
- ⑩ 中甘田
- ⑪ 福浦

※選手応援のための車両による  
伴走は大会要項で禁止してい  
ます。

大会運営の支障になり、交通  
安全の妨げにつながりますの  
で、絶対にやめてください。

### 【お問い合わせ先】

生涯学習課 ☎ 32-9350 (内線350)

## 平成23年 志賀町成人式のお知らせ

新しい門出を祝して志賀町成人式を挙ります。

- とき 平成23年1月9日(日)
- ところ 能登ロイヤルホテル
- 対象 町内在住または出身で、今年度20歳をむかえる人  
(生年月日が平成2年4月2日から平成3年4月1日までの方)
- ご案内 12月上旬に対象者の皆さんに案内を送付します。  
対象者が町外へ転出している場合は実家宛に案内します。
- お問い合わせ先 生涯学習課 ☎ 32-9350



昨年の成人式

《詩のひろまり 秋の増刊号》

貝がら川柳社

幕あいに上手な司会もりたてる  
出る幕終え余生楽しむ位置にいる  
人生も幕間ありて又楽し  
打ち解けて心の幕も取り除く  
過重梱包エゴには遠い贈答品  
バイバイの児が引き返しおまけチュウウ  
刈られても踏まれても尚生える草  
じいちゃんも減反の草刈る用意  
刈るだけに戻る息子を待つ稲穂  
草刈りに精出す老が腰伸ばす  
虎刈りに刈った頭で保育園  
突ったか刈る前悩む稲の時期  
熱中症命懸けです草刈りも

富来俳壇

祭り客余韻そのまま帰りゆく  
秋彼岸歩道の献花痛ましや  
若僧の読経に和する蟬時雨  
その度に大人になりぬ帰省の娘  
楚々として嘘を小出しの秋扇  
卒寿なる父は語らず終戦日

坂下二三子

前田 志津  
吉村とし子  
須曾 正子  
坂野かほる  
石田 雪路  
村中 光彦  
関口トミコ  
山本 静香  
木村 貞涼  
遠藤美朝子  
西尾 善春  
小松 彰一

川田まさを  
下野 久雄  
大乘 大城  
長根尾郁恵  
須戸ひろし  
富地 重内

「門」土筆の会

今年まだわが家の墓と会はずをり  
夏瘦や箱眼鏡咬む力なし  
案山子にも主の個性ありにけり  
もてなしは涼風三味夏座敷  
太鼓打つ女躍動秋祭  
休むたび水ごとくくと早稲を刈る

はまなす句会

秋の蜘蛛糸一本の芸術家  
水音の絶えぬ山里秋の草  
島と島つなぐ砂浜盆の波  
雲の峰真下を走る高速路  
里山の景色浮き立つ月明り  
み仏に残暑を告げてお燈明  
かの日知る亡き夫とのみ終戦日  
雨一過今朝新涼のたたずまひ  
豪快に迎火回す村の衆  
見せたくて小さき手の中かぶと虫  
数珠を手面に影惚ぶ盆参り  
朝顔の萎へし花摘む日課なり

浅野 照子  
森下いわお  
藤澤 鶴女  
小島 史子  
須戸とみ子  
新澤 和子

深美 白鳥  
高岩みつる  
堀 綾子  
池田 玲子  
安田紀美恵  
前川美代子

裏田 弘美  
北谷 芳子  
坂下 草風  
坂下 豊子  
土田エミ子  
土田 清枝  
土田まつい  
鍋岡美智子  
藤田 君枝  
淵端 三之  
細川ふじ子  
吉田 外江

コラム

貝がら川柳会 理事 西尾 善春

忙しい現代社会毎日の気分転換には川柳づくりが最適で普段言葉に出来ない喜怒哀楽が川柳なら気楽に言える五、七、五のリズムを守った川柳は他人の記憶の中で生きつづける力を持つており五、七、五のリズムを固く守り信じて川柳を詠みましょう

孫二人 京訛来て 能登の夏

十七文字の、短詩で生活の中の喜び、悲しみを率直に表現する現代川柳の良さがあります。サラリーマン川柳、主婦川柳も大盛況です。人間関係の潤滑油に詠んでみませんか、皆様のご入会をお待ちしております。

文芸教室 — 作品募集

「文芸教室」に掲載する作品を募集しています。紙面の制約がありますので、短歌、俳句、川柳については一首（句）詩については二百字以内として送付ください。

●宛先／〒925-0198 志賀町末吉千古一番地1  
志賀町教育委員会 生涯学習課広報担当まで  
※毎月8日までにお送りください。

● 次回の文芸教室増刊は1月の予定です。皆さんの作品を募集しています。

志賀歌会

常になき暑さ続けるを詠める

投稿 短歌、俳句、川柳

ペットボトルの水に蛙の死にており  
 ここにも猛暑に落とせしいのち  
 年経りて旅より帰る吾が息子を  
 ばいかに迎えて相見えんや  
 熱中症気を付け居てと街に住む娘の  
 電話の声はやさしき  
 ゆっくりと泳ぎつつ魚は眠るらし  
 閉じることなき眼をもちて  
 ラジオより惜別のうた流れきて縫い針  
 持つ手を止めて聴き入る  
 乳児だき防空壕へ日に幾度日本の  
 命日八月忘れじ  
 大輪の花火見納めまだ足りぬ想いを  
 繋ぐカップメンの味  
 盆栽の師とも頼みし人のゆき葬送の  
 庭さるすべり咲く  
 騒がしくつくつく法師鳴く木立空  
 見上げれば夕立近し  
 極暑にも大根のふた葉彩さえて  
 朝な朝なの水やり続く  
 音も消えリビングの間に点点と  
 電子光ひかり宇宙を創造る  
 わが靴の置処忘れてうろたへり  
 現実となる老いを諸ふ  
 賞味期限切れたと笑みつつ同窓会  
 一期一会の六十路半ばに  
 コンクリの割れ目に咲ける白百合は  
 命守りて猛暑に耐えなん

花野 美咲

石田 豊

吉崎てい子

福島 信子

泉 広栄

東 操

鹿乃 夏子

越後 一子

田端 正敏

向永いみ子

芳岡 典子

安中加奈子

崎田ゆたか

岩上 久枝

いつになれば この極みなき 暑さ逝く  
 その日迎ふる 人々の 糸がほころに  
 描きつつ 池に泳げる 鯉見れば  
 水にこそあれ この日射し 耐ふまじきものか  
 木陰求め 並びてあたり 幼魚もともに  
 反歌  
 田に秋は来にけり御輿繰り出でて  
 入道雲の下を練りゆく  
 西浦川柳会  
 三食を猛暑に負けずたいらげる  
 食彩に精励したが暑気当たり  
 恵まれた食に感謝の心失せ  
 暑い夏負けずに三食良く食べた  
 孫が説くバランスの良いメタボ食  
 食べ残しもつたいないが肥満体  
 真夏日に生き抜く糧は食べるだけ  
 食事してもっと親しい人となり  
 おいしいよ食事胃袋ハッピーに  
 箱の中年代古着忘れられ  
 過疎進み神輿鎮座の箱車  
 ルビーロマン箱に詰められ誰の口  
 玉手箱開けてはいけなない呆けるかも  
 コミ箱もカラスの餌かねらわれる  
 貯金箱中は空っぽ酒に化け

吉本 與彦

川上 富子

岩井マサ子

芝山 照子

平川ふじ子

みやみちさか

林 ちよこ

中畑 良則

窪 洋

長田千枝子

高島 和子

古森 勝

立秋コウロギ泣がまだ暑い  
 祖父祖母を野辺に送り日唄びつつ  
 三昧跡の荒草を刈る  
 朝顔とつるをからませ留紅草  
 赤き星形そよ風にゆれ  
 暑い日に別れを告げる虫の声  
 町文化財指定 高爪神社本殿  
 このたび、大福寺にある  
 高爪神社本殿が、町文化財  
 に指定され、9月14日に教  
 育長から指定書が交付され  
 ました。  
 町文化財に指定されるの  
 は、合併後初めてで、町の  
 指定文化財の件数は119  
 件目となりました。  
 高爪神社本殿は17世紀後  
 半に建立されたと推定さ  
 れ、本町においては、神社  
 建造物として、江戸時代前  
 期のものが無いことから、  
 保存されるべきと考えら  
 れ、また「神仏習合」の歴  
 史を検証する上でも貴重な  
 遺産です。

瀬戸 栄子

松本理希三

志津江

浅子

